



特集

最高の一枚を求めて 愛南フォトクラブ

町内の写真愛好家が集う「愛南フォトクラブ」。撮影技術の向上を図りながら、会員相互の親睦を深めています。毎月1回定例会を開いて情報交換を行うほか、定期的に写真展も開催しています。一体どんな人たちの集まりで、どのような活動をしているのでしょうか。

設立の経緯

愛南フォトクラブが結成されたのは2011年。それ以前にも町内には複数の写真愛好家の団体がありました。会員数の減少に悩む団体もあって、別々に活動していたグループが共に活動することになりました。結成当初の名前は「南宇和フォトクラブ」。しばらくして現在の名称に改められました。

人の写真を見て技術が上がる

「会の雰囲気は和やかです。楽しいですよ」と幸崎信正さん



写真左から 取材に応じていただいた宇都宮さん、宮崎さん、沖野さん、幸崎さん

が話す定例会では、一通り情報交換や連絡を行った後、会員それぞれが一枚ずつ持ち寄った写真を評価します。撮影者を伏せ、先入観を持たずに批評できるように工夫しています。「人の話を聞き、人の作品を見ることで自然と技術が上がっていく。新たな発見があるし、自分の欠点も分かります」と、会長を務める沖野利文としふみさんは説明します。「人の写真を見て色んなことに気付くこと。それが一番やないかな」と、宇都宮幸種ゆきたねさんも続きます。

片の浜（御荘） 撮影：宇都宮 幸種さん

記録写真としての面白さ
風景や記録写真の撮影が中心で、凝った写真は撮っていないという幸崎さん。「長い間写真

写真撮影の難しさや魅力
「1,000枚撮っても気に入った写真は2〜3枚しかないんよ」と、事務局を務める宮崎茂さんは撮影の難しさを話します。他のメンバーからも、「完璧な写真は撮れないんじゃないかと思う」「理屈では分かっているけど、作品は作れない」と同調する声が上がります。それが写真撮影の難しさであり、魅力でもあります。



定例会の様子



写真を見ながら意見を交わす会員

個性を活かす
会長の立場で会員の写真について意見を述べる沖野さん。しかし、「私の意見を聞くだけではコピーになるだけです。数学なら答えは一つですが、写真は個性が大事です」と強調します。

を撮っていると、以前の写真と現在の風景が随分変わってきました。建物やお祭り、商店街など、昔と今の風景は全然違います。その移り変わりを見ることができ、その移り変わりを見るのができるのも写真の魅力です」と、記録写真としての面白さを説明します。

11/3 町内秋祭り

秋祭りでは、会員が各地に出向いて写真撮影を行いました。日枝神社（広見）で撮影した岡原俊機さんは、「境内にみんなが集まってくるこの光景が好きなんです。お祭りの賑やかな雰囲気が出るように撮りたい」と意気込み、

シャッターを切りました。八幡神社（御荘平城）では、中川裕文さんが撮影していました。仲間を見つけると声をかけ、最近撮影した写真について情報交換します。前日に撮影した宿毛のだるま夕日を見せてくれました。会員はSNSを活用して情報交換を行っています。



シャッターチャンスをつかぐ岡原さん

11/16 定例会

会員が集い定例会が城の辺学習館で行われました。この日は各々が持ち寄った秋祭りの写真の中から、広報あいなん12月号に掲載する写真を選定しました。

「広報誌に載せるなら全体の雰囲気分かるものが良い」「同じような写真ばかりにならないよう、これは入れ替えよう」などと、熱心に議論しながら選定作業が進みました。



真剣な表情で写真を選定する会員


写真は自由に見てもらいたい
 クラブでは写真展の開催にも力を入れています。毎年1回開催する「愛南フォトクラブ展示会」は5回を重ね、城辺夏まつりや愛南町文化祭でも展示しています。額の高さを合わせる際には水準器を使用し、照明の当たり具合にも配慮するなど、見せ方にこだわっています。
 「写真を撮る者は、人に見てもらってこそ意義がある」と話すのは宇都宮さん。「写真は撮るのも自由、見るのも自由」と、



愛南町文化祭で展示作業をする上田隆光さん

難しいことは考えずに見てもらえたらそれで良いと言います。「感じ方は十人十色ですからね」と、幸崎さんも同じ考えです。
今後の展望
 クラブではこれまで定例会や写真展、イベント時の撮影協力、フォトコンテストへの応募など、団体として、また個人として、多岐にわたる活動を続けてきました。
 最近では、愛顔つなぐえひめ国体リハーサル大会の撮影協力

今月号の表紙の写真を撮影した
濱本秀雄さん
 出番待ちで祭りを見ているさりげない目線や表情が撮れた一枚です。
 未来を感じさせる年代の子どもたちが写っているのが気に入っています。



を行ったほか、ケーブルテレビに「愛南フォトクラブ30秒」というコーナーが設けられ、会員が撮影した写真が日々放送されるなど、活動の幅を広げています。クラブの存在が知られるようになり、撮影依頼も増えてきました。
 「クラブの存在を認めてもらっていると感じられて嬉しい。頼まれるとますますやる気になります」と話す沖野さんは、今後も他の団体への協力を惜しまないつもりです。新たな会員の獲得にも意欲を見せ、「関心のある人はいつでも」と目を輝かせました。



集合写真（見学者を含む）

愛南フォトクラブ

会員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|-----|-------|------|------|------|------|-------|------|------|------|-------|------|-----|------|-------|------|------|--|
| 増田圭介 | 増田恵子 | 土居泰直 | 岡部泰子 | 所谷司 | 好岡記志夫 | 中川裕文 | 小澤譲司 | 尾上雅巳 | 大本繁男 | 吉弘宗二郎 | 中井マミ | 上田隆光 | 濱本秀雄 | 宇都宮幸種 | 富岡由紀 | 宮崎茂 | 岡原俊機 | 中川八千代 | 沖野利文 | 幸崎信正 | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

主な活動

- 定例会** 毎月第3水曜日 午後7時から
写真展 2月～3月頃 愛南フォトクラブ展示会（DE・あ・い・21、御荘文化センター）
 8月 城辺夏まつり展示会（城辺商店街）
 11月 愛南町文化祭作品展示（御荘文化センター）
撮影協力 5月 ツール・ド・あいなん（町内全域）
 8月 城辺夏まつり、御荘夏まつり
 10月 愛顔つなぐ えひめ国体リハーサル大会（あけぼのグラウンド）
放送 ケーブルテレビ「びやびや愛南タイム」内 愛南フォトクラブ 30秒
投稿 愛媛新聞「読者の写真」・「単眼複眼」

ブログ

中川八千代さんは、撮影した沢山の写真をブログに載せています。
 「ハチミツの海を渡る風の音」
<http://hatimitu04.exblog.jp/>



2006年から続けています。ふるさとを離れた方が写真を見て「懐かしい気持ちになった」と言ってくれることが励みになっています。